2021年 1月号

京都市保育園保護者会連合協議会

市保連ニュース

発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）5 階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net / http://www.shihoren.net
京都市保育園保護者会連合協議会

コロナ禍の保育・子育てについて調査を実施中！

～「休園・登園自粛時の子育て世帯の対応に関する調査」にご協力ください～

明けましておめでとうございます。今年も京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）の活動へのご協力・お力添えをよろしくお願いいたします。

さて、お正月気分も吹き飛ぶような 2 回目の緊急事態宣言が出され、仕事や生活の面で影響を受けておられる方も多いと思います。また、京都市内でもこれまでに 78 箇所の児童福祉施設が利用者や職員の感染により臨時休所したとの報道もあり（『京都新聞』1 月 13 日）、子どもたちの生活もいろいろな面で影響を受けているのではないでしょうか。

こうした事態をうけて、市保連では Web 上で「新型コロナウィルス拡大時の保育施設の休園・登園自粛時の子育て世帯の対応に関する調査」を実施しています（最終締め切り：2 月 10 日）。

1 月 16 日現在、約 150 人の方より回答があり、登園自粛や休園を実際に経験されて大変だったことや、まだ経験していないけど不安に感じることなど、保護者の声を続々とお寄せいただきました。

子どもの登園自粛・休園に伴い、仕事を急に休まなければならず大変な思いをされた方や、逆に仕事を休めず感染を心配しながらも祖父母に頼った方など、それぞれの状況の中でご苦労をされた様子が見えてきました。また生活リズムが乱れる中で、子どもも保護者もストレスを抱えながら、保育園の様子やコロナに関する情報が入って来ないため孤独を感じたという方もおられました。

市保連では、子育て世帯の声を集め、メディアや SNS を通じて社会に発信するとともに、京都市などに必要な対応を求めていきたいと思います。

調査は、市保連のホームページより回答いただくことができます。まだ休園・登園自粛を経験されていない方も含めて、保護者ならどなたでも回答いただくことができますので、ぜひ多くの保護者の方の率直な声をお聞かせください。

なお、本調査の結果については、2 月 23 日に開催する下記のオンライン講演会でも報告させていただく予定ですので、そちらにもぜひご参加下さい。

オンライン講演会を開催します

～事前申込不要で、どなたでもご覧いただけます～

市保連では、コロナ禍での保育・子育ての課題と、保護者の保育への関わり方を考えるため、池本美香さん（日本総合研究所上席主任研究員）を講師にお迎えして、オンライン講演会を開催します。保育の質を保障するために、保護者の参画が欠かせないという池本さんのお話を通して、保護者のちからをどのように活用することができるのか、一緒に考えてみませんか。

2021 年 2 月 23 日（火・祝）14:00～16:00

YouTube 特設サイトにてライブ配信します。下記の URL または右記の QR コードからアクセスしてください。

➥ https://youtu.be/ngwxYY4SCEQ

※　市保連のホームページからもアクセスできます。



「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」を提出しました

～コロナ禍のなかでもより豊かな保育の実現を求めます～

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では毎年、保育園への入園をめぐる不安や待機児童問題、保育料等の経済的負担、保育内容や保育の質のこと、保育士等の働き方や待遇のことなど、京都市内の各保育園保護者から出された、保育や子育てをめぐる要望・意見を取りまとめた「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」を京都市に提出し、保護者の声を保育施策に活かしてもらうよう要望しています。

1月22日（金）、市保連役員より今年度の「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」を京都市（幼保総合支援室）に提出しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受けて、子育て世帯は仕事でも子育てでも大変な状況に直面しています。

一方、前号でもお伝えした通り、京都市の「京都市持続可能な行財政審議会」での議論や、市民前減免措置の廃止をめぐる審議などでは、子育て・保育関連の項目も削減の対象に挙げられています。例えば、「民間保育園の職員給与を底支えしている補助金35億円削減」（『京都新聞』1月13日）、「保育士の処遇改善などで60億円」「保育料軽減16億円」（『毎日新聞』1月11日）など、この間に報道されているだけでも、京都市の保育環境が後退してしまうのではないかという不安を覚えます。

こうした動向をうけて、今年度の要望書においては特に、

① 子育て世帯にとって大きな負担となっている保育料が上がるようなことはしないでください
② 地域のセーフティネットの役割も果たしている公立保育所の役割を重視し、現在、民間移管が検討されている聚楽保育所（中京区）、鏡山保育所（山科区）などで、これまで通り、子どもたちが入所・利用できるようにしてください
③ 保育の質を落とさないようにするために保育士が安心して働ける環境を維持できるよう、処遇を改善してください
④ 行政審議会では障害児の加配についても見直しの対象となっていることから、配慮の必要な子どもが安心して利用できる保育施設を整備してください

といった点を強調しています。

また例年、この要望書を踏まえて、京都市の幼保総合支援室との懇談会を開催しています。懇談会では、京都市の保育担当者との意見交換を通じて、保護者の生の「声」を直接届ける機会として、多くの保護者の方々にご参加いただいていきました。

しかし、今年は昨年に引き続き、新型コロナウィルス感染症の状況について、今後の推移も考慮しながら開催方法を工夫していく必要があります。そのため、京都市との懇談会の詳細が決まりましたら、市保連のメーリングリスト等でご案内させていただきます。また、皆さんに懇談会当日会場にお越しいただけない場合は、代わって事務局が皆さんの声を京都市に届けますので、市保連事務局宛に京都市に伝えたい保護者・保護者会の困りごとや、ご意見、ご要望等をぜひお送りください。

市保連では新型コロナウィルス感染症流行拡大の影響が長期化しそうな現在、少しでも子どもたちや子育て世帯が安心して生活できるよう努めていきたいと考えています。私たちが、将来子育てをする子どもたちに豊かな保育環境を残すために、今が正念場だと思いますので、皆さんのお力添えを、よろしくおねがいします！

□ 要望書は、市保連のホームページに掲載しています。
□ 懇談会に向けてのご意見・ご要望は、市保連事務局（info@shihoren.net）までお寄せください。

聚楽保育所の保護者が裁判を起こしました

～ご支援をお願いいたします～

今年も、2 月上旬に 4 月一斉入園の発表が行われる予定ですが、新聞等でも報道されている通り、京都市営聚楽保育所（中京区）では異例の事態になっています。

京都市は、昨年 11 月末に 4 月一斉入園の申し込みを締め切った後、12 月 7 日に突然、聚楽保育所の 4 月の受け入れを「未定」とすることを発表しました。その後、12 月 16 日には中京区で受け入れ枠が不足している 1、3 歳児については新規入園の受け入れを表明しましたが、0、2、4、5 歳児については今も認めていません。

そうしたなか、0 歳の保護者の方が、このままでは仕事に復帰ができないと、1 月 18 日に京都市を被告に裁判を起こしました。裁判所から京都市に対して 4 月入園を命じる決定を求めています。保護者の声をお届けします。

「来年度の 0 歳児受け入れ枠は未定」…下の子の育休を経て、4 月の復職に向け、保育利用申し込みを順調に済ませて約 1 ヶ月、突然の発表に、目の前が真っ暗になりました。住んでいる地域で働き、子どもを産み、育てるのは、そんなに難しいことなのかと。

今回、聚楽保育所は 2022 年度からの民間移管先に選定された事業者が辞退したことにより、来年度新規入所の受け入れ枠が「未定」になったとのことですが、民間移管に関わらず 2021 年度は市営保育所として運営される予定だったのだから、現時点で入所希望者を受け入れないということ自体、理解に苦しみます。しかも、1 歳児と 3 歳児については受け入れ枠を確保するとのこと。なおさら納得できません。

聚楽保育所は、円町（中京区の西北端）周辺で唯一、7:00～19:00 開所の保育所です。私たち家族の場合、祖父母が遠方で、夫は早朝勤務・残業・夜勤のある仕事、私も通勤に片道 1 時間程度を要するため、7:00～19:00 の利用が復職には不可欠です。

しかし、京都市からは「残業は考慮されません。他の交通手段で早く行ける方法があれば、他園での調整可能と判断します」とのこと。上の子の入所を相談した時に「車は買えませんか？」「引っ越しを考える方もいますよ？」と言われ、この地域に住むことも許されないのかと悲しくなったことを思い出しました。

今回、市から提案された保育園では、上の子を学童に迎えに行き、重たいランドセルを背負ったまま保育園～自宅へと 1 時間以上歩かせることにもなります。子どもへの申し訳なさで涙が出ます。

「希望園に入れない人もたくさんいる。特定の園を希望するのは保護者のワガママだ」という声もありますが、譲れない必要性こそがニーズだと思います。施設があり、保育士さんもいるのに利用させてもらえない、そんな理不尽な「子育て・教育環境日本一」って、あるでしょうか？

どの子にも必要な保育が保障されることを願って、今回提訴に踏み切りました。皆さま、どうかご支援ください。

2021 年 1 月 18 日

聚楽保育所保護者

この問題をめぐっては、京都市保育園保護者会連合協議会からも、2020 年 12 月 22 日に京都市に対し「京都市営聚楽保育所の 2021 年度 4 月についての緊急要望」を提出しました。

問題点を分かりやすく指摘していますので、そちらもぜひお読みください。市保連のホームページに掲載しています。

➥ http://www.shihoren.net/?p=1732 （市保連 HP へ）

コロナ禍の中での

保護者の交流・保護者会活動について教えてください！

～「コロナ禍での保育園行事、保護者の交流、保護者会活動などに関するアンケート調査」実施のお知らせ～

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、保育園や認定こども園において、保護者の交流や保護者会活動も大きな制約を受けています。

市保連ではこれまで、保護者会活動交流会を通じて、そうした状況や、各園での工夫について意見交流や情報交換をしてきましたが、今回、アンケートを通じて各園の状況を把握するとともに、アイデアを共有できればと思い、このアンケートを実施することになりました。

なお、アンケートへの回答は、各園の保護者会役員の方、または園長その他職員の方よりいただきますようお願いいたします。

ご協力をお願いいたします！

こちらの QR コードからアンケートにアクセスしてください。
また、市保連のホームページからもアクセスできます。

※ 提供いただいた情報については、集計の上、市保連ホームページで公開する方法など、皆さんの参考となるよう提供させていただきます。また、保育施設でのコロナ対策の充実を求める立場から、講演会等での発表、行政への要請活動の資料、報道機関への情報提供などに使用させていただきます。その際、回答の個票、園名については非公表とします。

2020 年度第４回保護者会活動交流会のお知らせ

下記の通り、2020 年度第４回市保連保護者会活動交流会を開催します。

日時：２月 12 日（金）19 時から 21 時
実施方法：オンライン開催（Zoom 使用）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回はリモート参加のみのオンライン開催とします。会場へお越しいただくことを楽しみにしていただいていた皆さん、申し訳ありません。

参加をご希望の方は、２月９日（火）までに市保連事務局へメール（info@shihoren.net）にてご連絡下さい。折り返し、事務局よりZoomミーティングID・レジュメなどをお送りします。

各園の保護者会役員が抱える悩みを相談し合い、他の保育園の状況についても知り、交流する機会ともなります。未加盟の保護者会、保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎します。

お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。

登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！